

名経のオープンキャンパスへ行こう!

うわさの“Mランチ”
おいしくて、
栄養も満点!



熱い「講義」もお楽しみに!



名鉄小牧線「田原神社前」駅から
無料スクールバスが利用できます!
5分ほどで到着



OPEN CAMPUS 2014 10:30~14:30 (10:00 受付開始)
6/15 日・**7/20** 日・**26** 土・**8/3** 日・**23** 土・**9/7** 日
10/11 土・**12** 日・**11/16** 日・**2015 3/29** 日



オリジナルグッズ
プレゼント!

◆学長メッセージ / 学部学科説明 / 体験授業 / 学食体験 / MEIKEI“大探検”ツアー / 総合相談コーナー など

2015年度入試日程 ※選考方法については、「2015(平成27)年度入学試験要項」にてご確認ください。

■大学 経済学部、経営学部、法学部、人間生活学部 教育保育学科・管理栄養学科 ■短期大学部 保育科

入試区分		出願期間(消印有効)		試験日	審査結果発表日	合格発表日
AO	I期	エントリー	2014年4月27日(日)~9月5日(金)	9月13日(土)	9月17日(水)	—
		正式出願(専願)	2014年9月18日(木)~9月25日(木)	—	—	10月3日(金)
入試区分		出願期間(消印有効)		試験日	合格発表日	
一般推薦	前期	2014年10月7日(火)~10月22日(水)		11月2日(日)	11月7日(金)	
入試区分		出願期間(消印有効)		試験日	審査結果発表日	合格発表日
プラチナ奨学生選抜		2014年11月11日(火)~12月1日(月)		12月7日(日)	12月12日(金)	1月30日(金)

※その他、AO入試(Ⅱ~Ⅶ期)、一般推薦(後期)、一般入試、センター利用入試も実施します。

■大学院 法学研究科 / 法学専攻(修士課程)・企業法学専攻(博士後期課程)、会計学研究科 / 会計学専攻(博士前期課程)・(博士後期課程)
 人間生活科学研究科 / 幼児保育学専攻(修士課程)・栄養管理学専攻(修士課程)

研究科	専攻	課程	入試区分	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日
法学	法学	修士	I期	2014年8月11日(月)~8月19日(火)	9月7日(日)	9月10日(水)
会計学	会計学	博士前期				
人間生活科学	幼児保育学・栄養管理学	修士		2014年8月20日(水)~8月28日(木)	9月13日(土)	9月26日(金)

※上記各研究科・専攻の入試には、推薦、一般、社会人、外国人留学生の入試区分があります。
 ※法学研究科(修士・博士後期課程)、会計学研究科(博士前期・後期課程)では、Ⅱ期試験(2月)、人間生活科学研究科では、Ⅱ期試験(12月)、Ⅲ期試験(2月)も実施します。

学校法人市邨学園教育研究充実寄附金のお祝いについて

学校法人市邨学園では、少子化の進行などにより今後より一層厳しさを増す私学を取り巻く環境を踏まえ、100年積み上げて参りました教育・研究活動の益々の振興充実をはかるべく、「学校法人市邨学園教育研究充実寄附金」(任意)を募集いたしております。
 趣旨にご賛同いただき、ご寄附をお申し出いただける場合、またご不明の点などありましたら、下記までご連絡いただきますよう、よろしくお願いたします。なお、本法人は、特定公益増進法人の認定に加え、税額

控除対象法人の認定を受けました。これにより、個人の方が本学へご寄附いただきますと、以前より多くの所得税の控除を受けることも可能となります。

寄附金に関する照会・連絡先
学校法人市邨学園 法人本部(寄附金担当)
TEL 052-853-0047(代表)

お詫び 名経大通信 Vol.47裏表紙に掲載しました「わが家の自慢料理コンテスト」において一部誤りがありました。正しくは以下の通りです。
 関係者ならびに読者の皆さまにご迷惑をおかけしましたこととお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。
 (誤)国際バインアップル → (正)国産バインアップル

MEIKEI

あなたのご意見をお聞かせください
 「名経大通信」Vol.48について、ご意見やご感想などございましたら、情報センター広報室(右記連絡先)までお聞かせください。

MEIKEI 名経大通信 Vol.48 | 平成26年5月31日発行 | 名古屋経済大学・短期大学部 〒484-8604 犬山市内久保6-1-1 TEL 0568-67-0511(代) http://www.nagoya-ku.ac.jp/

MEIKEI

名経大通信 **Vol.48**
 2014.5.31
 名古屋経済大学
 名古屋経済大学短期大学部



情報センター広報室 TEL 0568-67-0624 FAX 0568-69-2700
 ●本掲載の記事・写真・イラストなどの無断転載・複製・転写を禁じます。

入学式&新入生歓迎行事

平成26年度 入学式

4月1日(火)、名古屋経済大学・短期大学部及び大学院の入学式を挙行しました。春らしい柔らかな日差しに、桜も満開となり、新入生たちは大きな期待を胸に、新たな門出の日を迎えました。

市邨・高蔵両校の吹奏楽部による「大学歌」の斉唱の後、佐々木学長は告辞で、「変化の時代、予測困難な時代に皆さんに必要なのは、自ら学ぶ力を身につけることだと思います。これまでの知識詰め込み型の学びに馴染めなかったという皆さんも、尻込みをする必要はありません。新しい変化の時代を自分にとってのチャンスだと考え、今の自分に満足してしまわずに、思いきり背伸びをしてください。背伸びをして課題を見つけて果敢にチャレンジしてください。私たちは皆さんの背伸びに応えて、その限りない成長を支援したいと思います。本日この

新入生代表として宣誓する荒木さん

日からこのキャンパスで、皆さんのみずみずしい知性と闊達な精神が躍動することを期待しています」と、祝福と応援の言葉を述べられました。

新入生を代表し、人間生活科学部教育保育学科の荒木麻邑さんが「これからの大学生活において出会いや経験をそれぞれの糧とし、教養と自信を蓄えた社会人となれるよう踏み出していきたいと思います」と、力強く宣誓しました。



新入生歓迎会「名経へようこそ！」

入学式を終えた新入生は、学生自治会・大学祭実行委員会主催の「新入生歓迎会」に出席し、立食形式でのランチを楽しみながら、上級生と交流。クラブ・サークルの勧誘を受けるなど、会場は元気な声と笑顔にあふれていました。



仮装して新入生をお出迎え



お寿司にサンドイッチ、オードブル...笑顔で歓談



新入生でにぎわう「弓道部」のブース

新入生オリエンテーション

経済・経営・法学部 3学部合同開催

着実に準備を進めたフレッシューズセミナー

今回のフレッシューズセミナーは前回に引き続き、3学部合同イベントとして開催しました。昨年度の春休み期間中から、パンフレットの制作や、講演いただく先輩方への連絡などに取り組んできました。私を含め、初めて準備をする学生ばかりだったので、先生方や先輩方からアドバイスをいただきながら、着実に作業を進められるように努力をしました。

当日は、就職や資格取得について、先輩方に積極的に質問をする新入生の姿も見かけました。このセミナーが、少しでも4年後の将来を考えるための糧となってくれたら嬉しいです。

●フレッシューズセミナー実行委員
法学部2年 倉内佳祐さん
青森県立青森高等学校出身



先輩の講演に聴き入る新入生

フレッシューズセミナー
犬山キャンパス 7E2 4/5(土)

人間生活科学部 教育保育学科

先輩だからこそ伝えられることがある

私は、教育保育学科のフレッシュマンセミナーに在学生代表として参加しました。このフレッシュマンセミナーは昨年度、私たちが入学した際にも開催され、先輩方から大学生活の楽しさや大変さを直接教えていただきました。今回は、私たちが先輩という立場になりました。入学してまだ1年しか経っていないため、伝えられたことはごくわずかだったかもしれませんが、新1年生の皆さんの真剣な眼差しを見て、自分自身の入学当時の初心を思い出すことができました。新入生の皆さんにとって、このフレッシュマンセミナーが大学生活の糧になってくれればと思います。

人間生活科学部 教育保育学科2年
川瀬教也さん
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



新入生の先頭に立ち宿舎施設へ

フレッシュマンセミナー
春日井市少年自然の家 4/3(木)・4(金)

新入生オリエンテーション
犬山キャンパス 1C4 4/3(木)

人間生活科学部 管理栄養学科 楽しみになった大学生活

私は、「資格を取るぞ!」という気持ちで大学に進学しました。入学当初は不安もありましたが、私たち新入生のために歓迎会を開いていただき、さまざまな人と話をするきっかけができました。また、先輩の方々から優しく話しかけていただいて、これからの大学生活が楽しみになりました。部活やサークルなどで先輩方が頑張っていることも知り、私も積極的に挑戦したいと思いました。

これから大学でたくさんのことを学んで、栄養面で身近な人を支えられるようになりたいと思っています。

人間生活科学部 管理栄養学科1年 石野涼美さん 愛知県立内海高等学校出身



先輩からアドバイスを受けて時間割を作成



仲間とランチタイム(鈴木公三)

フレッシュマンセミナー
迎帆楼(犬山市) 4/3(木)・4(金)

短期大学部 保育科

在学生の企画で「フレッシュマンセミナー」を盛り上げる

4月3日(木)から1泊2日で行った保育科オリエンテーション。今年は、在学生が主体となって企画や準備を進め、当日の運営も行いました。プログラムの中心に、ゼミごとに1つの作品を作ることを企画。1日目は、ゼミ内の他の学生の名前を新聞から探し、似顔絵を描きました。2日目は、犬山城下町の散策中にテーマに沿った写真を撮影し、コラージュ。どのゼミも素敵な作品ができあがりました。また、手遊びやシアターに参加する時間も設け、新入生同士だけでなく、上級生との交流も大切にしました。この2日間の活動を通して少しでも不安が解消され、これからの大学生活を楽しく過ごせると嬉しく思います。

私たちが今回の経験を通して、一から計画する大変さを知ることができました。この経験を今後の実習に生かしていきたいと思っています。

●「チーム保育科」フレッシュマンセミナー担当
短期大学部 保育科2年 小島詩歩さん 名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身
福沢みやこさん 名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



新聞を題材に課題に取り組む

新任教員メッセージ

誇りを抱ける大学に

経済学部 片山和希准教授

在学生そしてOB・OGが本学に一層の誇りを抱けるよう、微力ながら尽力していきたいと思っています。在学生の皆さんの目の前にはたくさんの機会が広がっています。生かすかどうかは皆さん次第なのです。そのことに気づき、それぞれに良い出会いがあることを願っています。そして、卒業する時に振り返り、思い出深く思える、そんな学生生活をぜひ送ってください。



充実した4年間を

経済学部 峯岸信哉准教授

勉強やスポーツなど何でも構いません。それぞれが、「卒業時になりたい自分」をイメージして、具体的な目標をしっかりと決めてください。充実した4年間になるよう、精一杯お手伝いしたいと思います。一緒に考え学びましょう!



生き方の基礎となる学生時代

人間生活科学部教育保育学科 田中秀佳准教授

学生時代とは、人生で最も自由に考え、行動出来る時期であり、そこでの思考と経験は、その後の人生の基礎となるものだ、というのが私の学生時代の総括です。後悔より失敗、あつという間に過ぎてしまう貴重な4年間をどうか有意義に過ごしてください。

何か思いついたことをぜひ!

経済学部 酒井愛准教授

私の講義では、「聴いて…損はない話、考えて…ためになる話」を提供したいと思っています。皆さんからの質問や要望・提案は、私の講義にとって大切なエッセンスです。どんな小さなことでも構いません。何か思いついたことがあれば、ぜひ教えてください。



楽しみながら豊かな経験を

留学生支援室 留学生向け日本語科目担当 金村久美准教授

留学生を大事にする、日本とさまざまな国の学生がお互いに学び合い成長する大学。学生の皆さんが立派な社会人として社会に出るまで、大学生活を楽しみながら豊かな経験ができる大学を作ります!



自発的に学ぶ意識を持って

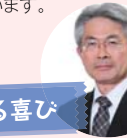
人間生活科学部管理栄養学科 倉橋伸子准教授

在学生の皆さんには、将来の夢に向けて必要な知識や教養を身につけ、自発的に学ぶ意識を持ってもらいたいと思います。社会に貢献できる人材が育成できるよう、自分のこれまでの経験を生かし、皆さんと共に学び歩いていきたいと考えています。

学生と共に学び、成長したい

経済学部 畑佐伸英准教授

大学での4年間は、社会で生きていくために必要な知識と教養、そして何よりも、問題解決能力と創造力を養う重要な期間です。この時を無駄にすることなく、大いに学んで問題意識を高めてもらいたい。私も学生の皆さんと共に学び、一緒に成長していきたいと思っています。



果敢な世代を育てる喜び

人間生活科学部教育保育学科 倉地要特任教授

大学生活は、知識を蓄え知性を磨き、感性を育てて、人間形成を大きく成し遂げる大切な時期です。それだけに、今までの教職経験を生かして、教職を目指す果敢な世代を支援、指導、アドバイスしながら育てていけることを幸せに感じます。



実践力を育てる授業を

短期大学部保育科 飯田幸恵准教授

社会に出て即戦力となる人材を育成するため、社会のマナーを身につけ実践力を育てる授業を行いたいと思います。本学で学んだことを誇れるような、魅力的な大学生活を一緒に創り上げていきたいと思っています。



表彰

平成25年度 学長賞受賞者

学業、またスポーツの面で優秀な成績をおさめた学生に「学長賞」が授与されました。平成25年度の栄えある受賞者9名と団体1組の皆さんは、壇上に立ち少し緊張した表情で記念写真に収まりました。



前列左から沼さん、小島さん、古知屋さん、鐘さん、池山さん、谷口さん、小水内さん
後列左から柘植さん、松原さん、森川さん、山田さん

【学業が特に優秀であった学生】

大学

経済学部
森川 貴司さん

経営学部
鐘 雪嬌さん

法学部
古知屋 奈央さん

人間生活科学部 教育保育学科
沼 博美さん

人間生活科学部 管理栄養学科
小島 由香恵さん

短期大学部

保育科
池山 早咲さん

キャリアデザイン学科
小水内 梨愛さん

【スポーツ活動に とくに優れた功績があった団体】

剣道部

代表者 ●男子主将

経済学部
山田 翔也さん

代表者 ●女子主将

経済学部
谷口 明日香さん

【資格取得等に 顕著な功績があった学生】

法学部
柘植 輝さん

法学部
松原 淳貴さん

平成25年度 5名に「博士号」を授与



左から居波さん、市野さん、大城さん、金さん、宮城さん

平成25年度は、法学研究科から4名、会計学研究科から1名、合わせて5名の院生が栄えある博士号を取得されました。

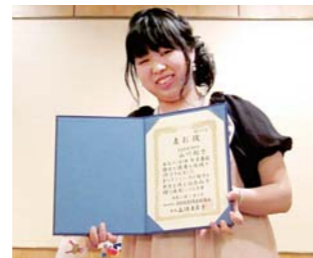
法学研究科の居波邦泰氏(本庄資研究室)は、博士(法学)の学位を取得され、国税庁に勤務されています。市野初芳氏(本庄資研究室)は、博士(法学)の学位を取得され、青山学院大学教授として教鞭を執られています。大城隼人氏(本庄資研究室)は博士(法学)の学位を取得され、会計事務所に勤務されています。金英豪氏(加藤徹研究室)は本学卒業後、大学院に進学し学位を取得。母国中国の河南科技大学の准教授として採用が内定しています。また、宮城厚志氏(笠井昭次研究室)は博士(会計学)の学位を取得後、会計事務所に勤務されるなど、皆さん多方面で活躍されています。

平成25年度 全国保育士養成協議会会長賞表彰

全国保育士養成協議会とは、保育士養成校を会員とする団体で、毎年、特に成績が優秀であり、保育士として就職が決定した学生に「会長賞」が授与されます。

平成25年度は、人間生活科学部教育保育学科から山川翔子さん。また、短期大学部保育科からは、犬飼愛乃さんが表彰されました。

山川さんは、名古屋市中村区の社会福祉法人桃水会「並木保育園」に。犬飼さんは、名古屋市中村区の社会福祉法人「いずみ保育園」で保育者としての新しい道を歩み始めました。



人間生活科学部 教育保育学科 卒業
山川翔子さん
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身



短期大学部 保育科 卒業
犬飼愛乃さん
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身

第8回 顕彰制度(Meikei Award)表彰式

3月12日(水)、本学講堂において「Meikei Award表彰式」が執り行われました。学園創立100周年を記念して創立された顕彰制度は、すべての学生が、それぞれの立場で学問をはじめとするさまざまな活動において努力することの意義を認識し、その功績や善行を讃えて広く知らせることを目標に、学術研究センターによって創設されました。

今年度は、団体の部3組、個人の部7名が栄えある受賞者として壇上に上がり、佐々木学長から表彰状を受け取りました。それぞれの活動内容の発表に会場から惜しみない拍手が送られ、学長からは「この受賞を多くの仲間にも広め、関連なキャンパスにするよう、今に満足することなく次をめざし、生涯学び続ける社会のリーダーとして活躍することを期待しています」と、お祝いの言葉が贈られました。



前列左から後藤さん、中山さん、植木さん、高田副学長、佐々木学長、竹内さん、近藤さん、山田さん、瀬戸口さん
後列左から尾崎さん、西野さん、松原さん、一人置いて徳永さんと剣道部の皆さん
後列右から4番目佐藤さん



笑顔も満開！保育科教員と一緒に 徳永さん(左)と顕彰制度委員長 谷川教授

団体の部

【優秀賞】

李ゼミ2013
(人間生活科学部 管理栄養学科1年 李ゼミ)
広報いぬやまへの「健康レシピリレー」のメニュー提案と、犬山お城まつり「犬山秋のたっぷり弁当2013」企画・販売による地域連携活動



李ゼミと竹内さん、お母様と一緒に記念撮影

いちむらっこまつり実行委員会 (短期大学部 保育科)

附属幼稚園で実施された「いちむらっこまつり」の企画から運営にいたる活動により、2年間にわたる学びの集大成として保育技術の向上に貢献

剣道部

日々の厳しい稽古を積み重ねることで、数々の大会へ出場。平成25年度は男子・女子ともに全国大会への出場を果たす



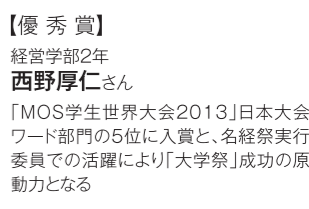
緊張した面持ちで表彰を受ける剣道部の代表



個人の部

【最優秀賞】

人間生活科学部 管理栄養学科2年
竹内志帆さん
平成25年「国産バインアップル缶詰を使ったわが家の自慢料理コンテスト」において最優秀作品に輝く



笑顔で賞状を受け取る西野さん

【優秀賞】

経営学部2年
西野厚仁さん
「MOS学生世界大会2013」日本大会ワード部門の5位に入賞と、名経祭実行委員での活躍により「大学祭」成功の原動力となる

法学部4年

松原淳貴さん (P14で紹介)
情報関連の数々の資格を取得し、さらに「マイクロソフト オフィス マスター」を取得

法学部2年

尾崎文成さん (P14で紹介)
真摯な態度で勉学に励み、独学で本学最年少の「行政書士」試験に合格

短期大学部 保育科2年

植木穂乃香さん
「オープンキャンパス」「名経祭」「いちむらっこまつり」などの企画から運営にリーダーとして携わり、より良い成果を上げる



「ありがとうございました」の学長の言葉に感激し、ほほを赤らめる植木さん

【努力賞】

経済学部4年
徳永竜樹さん
中国語検定4級、中国政府公認の中国語検定HSK3級を取得

法学部2年

中山真歩さん
TOEICにおいて法学部受験者のTOPスコアを記録したほか、大学でのさまざまな活動に参加し成果を上げる

※学年表記は受賞当時のものです。



人間生活科学部 管理栄養学科卒業
高橋知里さん
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身

平成25年度 全国栄養士養成施設協会会長賞表彰

3月18日(火)、平成25年度の全国栄養士養成施設協会会長賞に人間生活科学部管理栄養学科の高橋知里さんが選ばれました。これは、全国栄養士養成施設協会が栄養士免許資格取得者のうち特に優秀な成績を収めた学生を、本学の推薦に基づいて表彰するものです。

この日、ゼミ担当教員から賞状を受け取り、色鮮やかな振り袖・袴姿で笑顔いっぱい記念写真に収まった高橋さん。今回の「会長賞」受賞が自信となって、勤務先の「株式会社三河屋」で活躍されています。

犬山学生議会

多くの学生に経験してもらいたい

平成26年2月13日(木)に開催された犬山学生議会には、経済・経営・法学部および短期大学部保育科の学生19名が参加し、議長(法学部4年・村越裕介)を除く18名の学生が犬山市政について自ら関心のあるテーマで一般質問を行いました。参加した学生は、学生議会当日の経験はもちろんのこと、一般質問書の作成過程で犬山市職員の方や犬山市議会議員の方に質問しアドバイスを受けるなど、多くの貴重な経験を積むことができたでしょう。これからも多くの学生に犬山学生議会を経験してもらいたいです。

(法学部准教授 萩原聡央)

VOICE 学生が望んで参加する議会に

学生議会の開催にあたり、諸般の事情により準備期間が短くなり、開催直前まで不安が消えませんでした。しかし、本番の一般質問を聞いて、ようやく安心することができました。結局、学生議員たちと直接話す機会はありませんでしたが、アンケートでは「ゼミの先生に勧められて参加したが、貴重な経験ができて良かった」という意見が多く、安心しました。あとは、「学生(が望んで参加する)議会」に変えることができれば、より良い議会になると期待しています。(犬山市役所 議会事務局 議事課 粥川仁也さん)

「犬山学生議会」を終えて犬山市長・市議の方々と記念撮影



「犬山学生議会」の様子

VOICE 犬山学生議会を終えて

私は学生議員として、「犬山における防犯に対する取り組み」について一般質問を行いました。この経験から、次の時代を担う私たちが市政に関心を持ち、積極的に自らの意見や考えを示すことがとても大切であると実感しました。また、市に任せるだけではなく、「私たちがまちづくりの主人公である」という気持ちを持って取り組むことが、私たちの暮らしを豊かにすることにつながると、改めて認識することもできました。



法学部4年 堀秀輔さん
滋賀県立甲西高等学校出身

VOICE 今後の犬山市に期待

私は学生議員として、犬山市のスポーツ推進事業に関する一般質問を行いました。私が行った一般質問に対して、今後の犬山市の活動に期待が持てる内容の答弁をいただくことができました。また、犬山市の行政活動の実態について学ぶことができたほか、通常では得られない雰囲気や緊張感も味わうことができ、とても貴重な経験になりました。学生議会活動を通じて、未来の犬山市に向けて貢献できたことを大変嬉しく思います。



法学部4年 瀬戸口貴裕さん
鹿児島県実業高等学校(鹿児島県)出身

第4回 犬山 豆腐料理メニューコンテスト「料理の部」で優勝

2月25日(火)、犬山商工会議所特産品開発実行委員会が主催する第4回「犬山 豆腐料理メニューコンテスト」の2次審査が本学で開催されました。応募総数55名の中で1次審査を通過した本学の学生8名を含む10名は、手際よくそれぞれ自慢のレシピを披露し、コンテストを盛り上げました。

「豆腐春巻き」の甘酢あんかけで料理の部の優勝を射止めたのは、管理栄養学科1年の武内友江さん。緑のプロッコリー、赤と黄色のパプリカ、そして白ネギと彩り鮮やかに皿に盛り込まれた作品は、美味しそうな香りとともに食欲を誘っていました。武内さんは、「家族と一緒に考えたレシピで優勝でき、とても嬉しいです」と、顔を赤らめながら喜びを伝えてくれました。

また、料理の部では花原さんが3位に。スイーツの部では磯部さんが準優勝、伊藤さんが3位に選ばれ、入賞作品は、犬山市内のお店で期間限定メニューとして登場します。今からその日が楽しみです。

●第4回 犬山 豆腐料理メニューコンテスト入賞者

【料理の部】

優勝「豆腐春巻きの甘酢あんかけ」武内友江さん 管理栄養学科1年
準優勝「海そうとうふのお好み焼き」元方ひろみさん(一般)
第3位「豆腐でナゲット」花原彰子さん 管理栄養学科1年

【スイーツの部】

優勝「とろりおとうふ大福」重田 ミチさん(一般)
準優勝「とろける豆乳プリン」磯部 安希さん 管理栄養学科1年
第3位「豆腐チョコスコーン」伊藤 智加さん 管理栄養学科1年
※学年表記は受賞当時のものです。



審査員の質問にも笑顔で答え、余裕をのぞかせる花原さん



第4回 犬山 豆腐料理メニューコンテスト 第2次審査会

主催：犬山商工会議所 特産品開発実行委員会
協力：名古屋経済大学 人間生活科学部 管理栄養学科



日比野商工会会頭から表彰を受ける武内さん
(右は、優勝作品)



賞状を手にはスタッフと記念撮影に収まる入賞者前列左から磯部さん、伊藤さん、武内さん、重田さんと元方さん(一般)、花原さん
後列左から助手の宇佐美さんと亀山さん、吉野さん、渡邊さん、遠藤さん、中倉さん、李准教授

ボランティアのつどい

共生社会の探究 犬山「ボランティアのつどい」に参加

3月1日(土)、犬山市民文化会館にて犬山市ボランティア連絡協議会主催の「ボランティアのつどい」が開催されました。本学からは、2013年度「共生社会の探究」にて東北でボランティアを行った学生が、その活動成果を出展しました。

東北で行った畑の整備のボランティア活動や地元住民・仙台の大学生との交流を中心とした活動をパネルで報告するとともに、被災地の現状も伝えました。また、本学が犬山楽田地区で行っている「犬山でできる被災地ボランティア」として、被災地のおばあちゃんたちが作る布草履の材料となるTシャツを集めていることを紹介すると、「ぜひ協力したい」という声を多くいただきました。

地元で活動する災害や福祉のボランティア団体の方と直接交流でき、学生は得るものが多かったようです。(経済学部准教授 水野有香)



来場者に活動の報告をする後藤さん(左)と久川さん(右)

1 企業と共に考える！若者とクルマと今

自動車メーカーの協力を得て「どうすれば若い世代のクルマ離れを食い止めることができるのか」というテーマに取り組みました。

そして、クルマの生産や販売の現場を見学し、研修を受け、クルマに対する意識などについて名経大の学生を対象とした調査を実施しました。それを踏まえて、チーム毎に「若者にとって魅力的なクルマとは何か」についてまとめ、プレゼンを行いました。

(短期大学部キャリアデザイン学科教授 代田義勝)



試乗のレクチャーを受けゴーカートに興味津々



トヨタ博物館を見学



スタートを前に緊張する学生たち



トヨタのプリウス開発者からレクチャーを受ける

VOICE 楽しく学べた「若者とクルマと今」

クルマ作りを知るには、実際に「見て」、「聞いて」、「触って」、そして「調べるしかない！」ということで、トヨタ博物館を見学したり、プリウス開発者の方から直接お話を伺ったり、カートでミニレースをしたりと、さまざまな体験をしました。若者とクルマと今を、真剣かつ楽しく学べる、とても活動的で有意義なプロジェクトでした。

経済学部2年 堀友昭さん 愛知県立新城東高等学校出身

2 名経大の水を知る

「名古屋経済大学の水がどこから来ているのか」を学びます。浄水場や下水処理場を実際に見学し、取水した水がどのような過程を経て飲み水になるのか、また、生活排水がどのような過程を経て海に戻っていくのかを体験的に学びます。これらの過程で投入される化学薬品や浄化のシステムを具体的に知ることもできます。そして浄化によって生じる汚泥の二次的利用を知ることで、環境問題について考えるきっかけを得ることもできます。

(法学部教授 辻田芳幸)



名古屋市犬山取水場を見学

3 将棋に学ぶかけひき(戦略)

この授業では、日本の伝統的文化である将棋の歴史や文化的背景などについて学び、そして実際に将棋を指します。将棋には、大局的視点と個別的視点を兼ね備えた考え方が必要とされ、それは私たちの知性と感性を高めるのに大変役立つものです。また、将棋は普段使わない脳の部分を活性化し、集中力を高めるのに非常に有益です。受講生からは、「この授業はとても楽しく、興味深いものだった」との感想が多く寄せられています。

(法学部教授 富岡仁)



学生 VS 学生、只今対局中

4 ラッピング体験

この授業は、日本ラッピング協会の最高位の資格、「マイスター」を有する小山晴子先生に担当していただきました。授業では、人に个性的で素敵な贈り物をする時や、百貨店やスーパーなどの小売店に就職した時に役立つラッピング技術の基礎を学びました。箱などを紙で包装し、リボンで結んで仕上げるだけでなく、紙取りの仕方から学びました。また、授業では毎回、異なるラッピング方法を教えていただきましたが、その中には販売士3級のテキストに出てくるものも含まれており、かなり実用的な内容を習得することができました。実際、ある学生がアルバイト先で表裏のあるリボン結びをしなければならない機会があり、バイト先の人に授業で習ったように教えたら、すぐにもその方もできるようになり、喜ばれたということがあります。

授業では、全体的に和気あいあいとした楽しい雰囲気の中で学ぶことができたと思います。

(経済学部准教授 下川郁子)

初めての大学の授業

日本のラッピングの技術は世界に誇れるもので、ラッピングの資格を取ることを目的に、わざわざ海外から日本に留学される方もいるほどです。

今回初めての大学の授業で指導させていただきましたが、受講生の中でも、特に中国から来た留学生のお二人が真剣に取り組んでくれました。残念ながら今回は資格取得まではいたりませんでした。今年度はぜひ資格に挑戦する学生さんを育てたいと思っています。

(講師 小山晴子氏)



真剣に取り組む学生たち



講師の小山さん
右はアシスタントの浅野さん

5 名経大の廃棄物を知る

この授業では、私たちが学ぶ大学という場所から生じる廃棄物に着目し、その処理の方法を調べ、廃棄物処理に携わる人々へのインタビューを通じて、現状の把握と今後の課題を模索しました。

学内の清掃業者の方が、日々安全に配慮して作業してくださっていることがよくわかりました。また、犬山の都市美化センターを見学し、何気なく

捨てているゴミが安全と環境に配慮しながら処理されていることを知る事ができました。

(経営学部准教授 佐藤豊和)



専門職の方にもインタビュー

2014年「体験型プロジェクト」さらに内容充実 パワーアップ!

前年度の体験型プロジェクトは7週完結のものばかりでしたが、今年度は内容を再検討して、中身の充実を図ると共に、新たにこれまでの倍の15週を通して行う「体験型プロジェクトI・II」、1年を通して活動を続ける「体験型プロジェクトIII」を新たに立ち上げました。

体験型プロジェクトI・IIは、「学内農地の農産物体験」、「下校時の見守り

支援」、「授業時の見守り支援」、「企業と共に考える！若者とクルマと今」、体験型プロジェクトIIIは、「犬山の観光戦略を考える」です。

それぞれ、従来よりも長い時間をかけて取り組むことで、学生たちにさらに深い体験と学びを体験してもらえるのではないかと期待しています。

(経営学部教授 谷川毅)

入学前教育・高大連携事業

社会科学入門講座

「社会科学入門講座」を開催

2月から3月にかけての7日間、今年も4月入学予定の皆さんを対象に「社会科学入門講座」を開催しました。今回は体験型探究科目や市民生活シリーズなど、いま名経大が「売り出し中」の科目を紹介し、大学での学びの面白さを知ってもらうことに力を注ぎました。

初回の2月15日(土)は「スマホを斬る!」と銘打って、各学部より3人の先生が登場し、思い思いの切り口で講義を行いました。その後、会場を移し、教職員や在学生も交えてウェルカムパーティーを開催。テーブルごとに自己紹介をしたり、クイズに答えたりと、楽しいひと時を過ごしてもらいました。初対面の参加者が互いに声をかけあう様子が、とても微笑ましく思われました。

(短期大学部副学長 高田豊貴教授)



無料サービスのメリットについて(横平先生)



経済・経営・契約(法学)の観点から「スマホを斬る!」と題して熱い講義を開講(中央は佐藤先生)



地元企業の売り上げベスト5を考える



優勝グループには景品の「USBメモリ」が

高蔵高校「商業科DAY」

商業科DAYに参加して

「商業科DAY」に商業科の1・2年生で参加させていただきました。1年生は、「携帯電話にまつわる法律」「携帯電話を使う心理」など、日常に欠かすことができない携帯電話について講義を受け、「ケータイ」という一つの道具について、さまざまな方面から学びました。2年生は、「プレゼンテーションに特化した授業を行って欲しい」と高校側からリクエストし、「トクホ」を題材に

プレゼンテーション資料のまとめ方を教えていただきました。調査した結果を持ち寄り、全員の意見をまとめていく作業は、生徒にとって刺激的だったようです。ふせんや模造紙を利用し、全員に「見える」ようにする手法は、大変興味深いものでした。

(名古屋経済大学高蔵高等学校 商業科2年主任 木村裕子教諭)



調査したことを文字にして「マインドマップ」を作り上げる



只今調査、検索中



調査結果をプレゼンテーションする

VOICE きちんとした知識を持つ大切さ

私は、「トクホ」という言葉は知っていたものの、実際にどんな利点や害があるのかは知らずにいました。今回、「トクホ」について調べてみて、飲み過ぎ・食べ過ぎるとお腹をゆるくするなど、良いことばかりではないことを学びました。実際に商品を買う時に、消費者もきちんとした知識を持つことが大切だと知りました。

(名古屋経済大学高蔵高等学校 商業科2年 水野佳穂さん)

VOICE いい経験になったプレゼンテーション

あれほどの大教室でプレゼンテーションをしたのは、初めての経験でした。どうしたらわかりやすく伝わるか、緊張しないで話すことの難しさなど、プレゼンテーションについてたくさん学ぶことができ、本当にいい経験ができました。このような機会を作っていただき、ありがとうございました。

(名古屋経済大学高蔵高等学校 商業科2年 佐藤呂奈さん)

就職サポート

名経学内合同企業展

2月3日(月)・4日(火)、プラザIIにて「学内合同企業展」が開催されました。本学採用実績のある企業を中心に合計121社がブースを設け、延べ279名の学生が来場。個々の企業採用担当者から会社の概要、求人内容の説明を受けました。企業側は採用を前提に本学学生と接し、学生側は多くの企業ブースを巡って、企業研究と自己アピールに努めました。双方が直接話せる場を設けたことで、終了まで会場は熱気に包まれ、採用担当者との絆が深まる合同企業展となりました。



資料に目を通しながら順番を待つ学生



警察官志望者が大勢詰めかけた愛知県警のブース

内定者報告会

2月3日(月)、学内合同企業展に先立ち、内定を獲得した先輩学生から就職活動の手ほどきを受けました。自己分析から企業研究、応募書類の作成、面接の心構え、就職活動全般で苦労したことや工夫したこと、特に企業展に参加する場合の注意点など、多くのアドバイスがありました。出席した学生たちは熱心に聞き入り、就職活動の進め方を具体的に理解し、内定獲得への意欲を高めていました。



内定者の報告をメモを取りながら、話を聞く在学生



自分を表現することが大切

短期集中、履歴書の作成などを早めに準備し、就職活動に臨みました。実行委員として大学祭で起こったさまざまな問題を解決した経験が、面接で自分の考えを相手に的確に伝えることに役立ちました。

学生時代に何に取り組んだか、何をどれだけ頑張ったか、自分自身をアピールし、表現できたことが自分の中で一番大きかったです。

[株式会社トーシン]

経済学部卒業 長屋智保さん 岐阜県立本巣松陽高等学校出身

やる気を前面に出しました

就職活動が解禁となる3年生の10月から企業展に参加しました。身だしなみはもちろん、元気よく明るいイメージを持っていただくよう意識したことで、人事の方に好印象を与えることができたと思います。

最初の面接では緊張し、言葉に詰まりましたが、そういう場面を何回

多くの合同企業展や説明会に参加

就職活動では落ち込むこともあります。気持ちの切り替えとポジティブな行動が第一です。私は、自己分析や自己アピールの仕方をしっかり把握し、面接で採用担当者に「この会社に入りたい」「この会社でどう働きたいか」を訴えました。できるだけ多くの合同企業展や企業説明会に参加し、視野を広げることで、自分の進みたい業種や職種が見えてきます。

[日本郵便株式会社]

法学部卒業 大澤亜衣さん 岐阜県立岐阜各務野高等学校出身

[ホシザキ東海株式会社]

経営学部卒業 水優樹さん 光泉高等学校(滋賀県)出身

卒論発表会・報告会

〈経済学部〉第4回 卒業論文発表会・表彰式

1月17日(金)、第4回経済学部卒業論文発表会・表彰式が開催されました。経済学部では、大学生活の集大成ともいえる卒業論文を執筆します。そして、提出された卒業論文は審査され、優れた論文を書いた学生は表彰されます。その成果を発表すると共に、論文執筆時の苦労やアドバイスを先輩から後輩へと伝え、次年度卒業論文を執筆する3年生に執筆の心構えを持ってもらうことがこの会の重要な目的の一つです。

今年度は、卒業論文賞「優秀賞」2名、卒業論文賞「佳作」2名が受賞しました。表彰式では木村隆夫学部長より表彰状と副賞が授与されました。それに続く発表会では、オリンピック、音楽業界、観光資源、地域コミュニティに関する興味深い卒業論文の報告が行われました。「早めにとりかかる」「自分が興味を持っているテーマを設定して取り組む」など、卒業論文執筆に対するアドバイスもありました。

発表会に参加した3年生は、来年度の卒業論文執筆に向け、先輩の言葉に熱心に耳を傾けていました。



◆優秀賞
森光平さん 岐阜県立八百津高等学校出身『オリンピック経済論』
加藤寛之さん 愛知県立犬山高等学校出身『日本と海外の音楽業界の違いについて』
 ◆佳作
桑田展佳さん 金光学園高等学校(岡山県)出身『倉敷市観光資源の歴史とその展望』
立木健一さん 三重県立久居農林高等学校出身『地域コミュニティの防災対策と福祉政策のあり方について』

学術研究センター主催「学生研究補助金報告会」

意欲あふれる報告の数々に、今後への期待がふくらむ

本学学術研究センターでは、毎年学生研究補助金を出して、学生の研究活動を応援しています。平成25年度は6組の申請があり、その研究活動の報告会が、3月5日(水)6C1教室にて行われました。

それぞれ意欲にあふれた内容となっており、今後のより一層の取り組みが期待されます。学生研究補助金の報告は、以下の通りです。

経済学部4年 **立木健一**さん 三重県立久居農林高等学校出身
 ◆防災マップ作成を通じた地域情報の可視化、災害発生前における防災情報の共有のあり方について

経済学部2年 **児島明伸**さん 名古屋工業高等学校(愛知県)出身
 ◆犬山市の遊休農地の実態把握及び遊休農地の有効活用促進～GISの活用と新規就農者支援事業～

経済学部1年 **鷲田智貴**さん 暁高等学校(三重県)出身
 ◆歴史情報の保存・受発信のためのデジタルマップの運用

経済学部2年 **武田幸二**さん 長野県須坂東高等学校出身
 ◆楽市活性化に向けた取り組み

人間生活科学部 教育保育学科4年
古谷弥生さん 滋賀県立高島高等学校出身
堀内公美さん 名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身
 ◆教育・保育に関する社会学的研究

人間生活科学部 管理栄養学科3年 **高取茉央**さん 岡山県立玉島高等学校出身
 ◆高校生アスリートに対する栄養サポート

※学年表記は受賞当時のものです。



「楽市活性化」についてプレゼンをする武田さん



研究材料として、自分たちで作成した絵本を見せながら報告する古谷さん(左)と堀内さん(右)

短期大学部の活動報告

〈キャリアデザイン学科〉ゼミナール交流会

1年間の学びの成果を発表

キャリアデザイン学科では、1月17日(金)に1年5ゼミ、22日(水)に2年6ゼミが最終ゼミの時間を使い、1年間にわたって実施してきた学習発表とゼミ間の交流を行いました。2年生は、テーマをはじめ調査・実演など、発表形態もさまざまであり、準備に時間をかけた大作がみられました。また1年生のゼミは、キャリア祭に出店した模擬店や展示について詳細に

報告。マーケティングのゼミでは、ミスタードーナツの商品を食べ比べ、その価格や味などについて特徴を発表しました。また、スウェーデン社会を教育、防衛、社会システムなど、多様な視点から調べ上げ発表するゼミもあり、共に充実した時間を過ごすことができました。

(短期大学部 キャリアデザイン学科准教授 水口美知子)

〈保育科〉入学前教育 IN キャンパス

2月8日(土)、新生を対象に「入学前教育 IN キャンパス」を行いました。ピアノチェック、『入学前教育ワークブック』の課題に対する先生との個別面談以外の内容を、「チーム保育科」が企画し、造形・パネルシアターコーナーをつくりました。入学前の参加者同士が仲良く楽しく過ごせるように、各コーナーへの誘導をグループ担当制にする工夫をしました。ブラックライトを使った造形活動は、参加者の心に残るものとなったようです。

当日は、予想外の大雪だったため、臨機応変さが求められることもありました。さまざまな予測をしておくことの大切さを学びました。

●「チーム保育科」INキャンパス担当
 短期大学部 保育科2年 新田見真衣さん 修文女子高等学校(愛知県)出身
 ※「チーム保育科」:学生自治会を発展させた形式で、大学祭や入学案内、卒業パーティ、新生歓迎会、オープンキャンパスなどの企画・運営を担当しています。



造形コーナーでアドバイスをする「チーム保育科」仲良く並んだ作品たち

〈保育科〉「遠足の計画」コンテスト

2月17日(月)、恒例の「ぜひ行ってみたい!「遠足の計画」コンテスト」の表彰が行われました。この課題は、2年後期「保育実習Ⅱ・Ⅲ(事前事後指導)」の中で取り組むものですが、いくつもの制約の中で、5歳児にいかにも楽しい遠足を体験してもらえるのかをグループで仮想的に考えます。今年は、バラエティに富んだ24グループの作品が3号館に展示され、学内外の多くの方から投票及び講評をいただきました。そうした経験からも、学生の皆さんは多くの学びを得たことでしょう。

1位受賞の作品は、見た目の細やかさ以上に、「小人の落とし物探し」という面白い仕掛けがありました。家庭へのおたよりに「小人からのお手紙」がついており、遠足前から家庭での会話が弾むよう導入に配慮がなされていました。(短期大学部 保育科准教授 関谷みのぶ)



展示作品の前で受賞を喜ぶ

VOICE 1位 受賞グループ



グループで集まる時間が少ない中、それぞれの得意な分野を分担しながら協力して取り組みました。ハツと見た時の華やかさ、内容の伝わりやすさ、子どもが楽しめる内容などを重視しました。3人の知恵と個性を出し切った作品なので、1位が取れて本当に嬉しかったです!

4月から3人とも保育の現場で働きますが、今回の「遠足の計画」で学んだことを生かし、それぞれの得意分野を発揮しながら頑張っていきたいと思っております。

投票してくれた皆さま、ありがとうございました!

短期大学部 保育科2年
 泉南巴さん 愛知県立新城高等学校出身
 後藤優美子さん 岐阜県立中津商業高等学校出身
 笹岡美歩さん 名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身
 ※学年表記は受賞当時のものです。

卒業式&卒業生メッセージ

平成25年度 卒業証書・学位記授与式

3月18日(火)市邨記念体育館にて、名古屋経済大学・短期大学部および大学院の卒業証書・学位記授与式が厳かな雰囲気の中執り行われました。開式の辞、大学歌斉唱に続き、この日卒業を迎えた490名に卒業証書・学位記が授与されました。

佐々木学長は告辞として、「現実の社会にしっかりと向き合い学びを重ね、理想を掲げて堂々と生きてください。人間を大切に社会の実現に向け、社会を変える力となってください。学び直しをしたいと思いますときは名古屋経済大学の門をたたいてください。待っています」と述べられました。また、田中志典犬山市長、犬山商工会議所の日野良太郎会頭からも心のこもったご祝辞をいただきました。



卒業生の言葉を述べる長屋さん(経済学部卒業)

卒業生メッセージ

社会人としての自覚を持ちたい

私はこの4年間、「管理栄養士国家試験に合格」という目標に向かって、日々努力を続けてきました。就職活動では、キャリアセンターの方にお世話になり、地元の企業から内定をいただくことができました。今後、辛いこともあると思いますが、大学生活で学んだことを忘れず、社会人であるという自覚をもって頑張りたいと思います。

[日清医療食品株式会社]②

●人間生活科学部 管理栄養学科卒業 小林佳奈さん 長野県辰野高等学校出身

目標に向かって頑張る!

私の4年間は実習や他のことをしているうちに、あっという間に終わってしまったように思います。今しかできないことも多くあると思うので、皆さんも自分のために悔いの残らないように過ごして欲しいと思います。私は、頑張った分は自分に返ってくるのだと感じることができました。皆さんも目標に向けて頑張ってください。

[鳥羽市役所(保育職)]④

●人間生活科学部 教育保育学科卒業 濱口ゆりあさん 三重県立宇治山田商業高等学校出身

大好きな仲間と成長したい

「みんな大好き!ありがとう!」振り返ると、この気持ち胸いっぱいにあふれるような2年間でした。日々の授業や実習の大変さに不安が募り、何度も壁にぶつかりましたが、人の悩みも自分の事のように考えてくれる素敵な仲間の支えで乗り越えることができました。卒業しても大好きな仲間と一緒に成長していきたいです。

[東郷町役場(保育職)]④

●短期大学部 保育科卒業 野々山菜希さん 愛知県立東郷高等学校出身

優しく個性豊かな先生方に出会えました

入学するまでは授業や学生生活への不安がたくさんありましたが、優しく個性豊かな先生方のあたたかい指導やアドバイスのおかげで、充実した学生生活を送ることができました。何かに悩んだ時、つまづいた時は先生方に相談していただき、残りの学生生活を、悔いのないように全力で楽しんでください。

[株式会社みずほビジネスサービス]①

●短期大学部 キャリアデザイン学科卒業 長谷川愛佳さん 岐阜県立各務原高等学校出身

多くの学びがあった4年間

私は、大学に入学してからの4年間、さまざまな経験をしてきました。たとえば、東日本大震災で被災地となった先でボランティア活動や学園祭などの学内行事に参加させていただき、普段の生活では味わうことができない多くのことを学びました。これらの経験を生かして、春から新社会人として頑張っていきたいです。



[セクスイハイム中部株式会社]

●経済学部卒業 中村瑞希さん
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身

売上No.1を目指す

無事に4年間で卒業することができ、就職も希望のトヨタカーディーラーに決めることができました。就職活動中は、うまくいかないこともあって苦労しましたが、キャリアセンターを有効に活用して、困難なことにも対応できました。4月からは、大学4年間で学んだことを糧に、売上No.1を目指して頑張ります。



[ネットヨタノヴェル三重株式会社]

●法学部卒業 上西優樹さん
三重県立尾鷲高等学校出身

楽しく過ごすのが一番

私は静岡県から本学に入学し、一人暮らしを経験。大学生活では、興味を持った授業を選択・受講し、部活動にも取り組みました。また、就職活動では、キャリアセンターの方々に親身にアドバイスをさせていただき、とても助かりました。学生生活は楽しく過ごすごが一番です。今しかできないことをして、より充実した毎日をしてください。



[株式会社静岡中島屋ホテルチェーン]

●経営学部卒業 荻島直さん
静岡市立商業高等学校出身

学生の活躍&メッセージ

剣道部 男女共に「全国大会出場」

東海制覇

私の指導も7年目を迎えました。25年度は、男子は2年連続全国大会出場、女子は2回目の出場。部員一同頑張ってくれました。今年は、「東海制覇」という高い目標を定め、厳しい稽古の中にも愛情をもって指導したいと思っています。

新入生は、男子10名、女子3名が入部しました。大変優秀な学生たちに、大いに期待しています。学生には、学業と剣道の両立を目指し、頑張ってもらいたいと思っています。(剣道部総監督 東日出男)

自分を成長させてくれた、剣道部での経験

剣道部で練習に打ち込んだ4年間、とても自分のためになる経験ができました。厳しい稽古を続けていてもなかなかいい結果が出なかった時は辛い思いをしましたが、いい仲間たちに囲まれ、協力しあって、男女共に全国大会に出場することができたことは、大変いい思い出になりました。

指導してくださった東日出男先生、東一良先生、そして剣道部の仲間たちに感謝しています!ありがとうございました。

これからも剣道を続けながら、社会人としてがんばっていきたいと思っています。

[中京総合警備保障株式会社] 男子主将 ●経済学部卒業 山田翔也さん 杜若高等学校(愛知県)出身



学長賞表彰での谷口主将(前列右から2人目)と山田主将(後列中央)

2年続けて、全国大会に出場

私は、名古屋経済大学の剣道部に入学し、剣道を4年間続けてきて本当によかったと思っています。入学当初は女子の先輩が1人在籍していただけだったので、自分たちの同期5人、計6名で頑張ってきました。少ない人数でしたが、みんなの目指していた目標はひとつ、「全国大会出場」。一人ひとりが自覚し練習してきた成果が、2年目に表れました。仲間もどんどん増え、今では13名になり、雰囲気も一気に盛り上がり、ますます力が入ってきました。人数が増えると、レギュラー争いが激しくなります。全員が努力し、個々のレベルアップに励んできました。そして2度目の全国大会出場。こんな嬉しいことはありません。

私たち剣道部は、チームワークが最高です。4年間ここで剣道ができたこと、そして素晴らしい先生・仲間に出会えたことを私は誇りに思っています。これからの名古屋経済大学剣道部のさらなる活躍を期待しています。

[刑務官(笠松刑務所)] 女子主将 ●経済学部卒業 谷口明日香さん 和歌山県立和歌山商業高等学校出身



喜びいっぱいの剣道部(Meikei Award 授賞式にて)

資格取得の功績で表彰

思ってもみなかった、嬉しい受賞「学長賞 & Meikei Award」

今回、情報関連の資格やマイクロソフト オフィス マスターの資格を取得したことで表彰していただき、とても嬉しく思います。私は今まで表彰は自分に関係ない事と思っていましたが、表彰していただくことができました。「当たり前のように行う」。それだけで、なにも特別な事をしなくても、十分結果を出す事ができるのだと思いました。皆さんも、受賞を目指して頑張ってみてはいかがでしょうか?

[愛知県警察本部] マイクロソフト オフィス マスター ●法学部卒業 松原淳貴さん 愛知県立春日井西高等学校出身



中山教授に祝福される松原さん(右)

大きな自信になる資格の取得

私は、行政書士国家試験に合格し、総務大臣から印鑑付きの合格証書をいただきました。この証書をいただくということは、「あなたは特別に、行政書士として独立して仕事をしていいですよ」という意味がありますが、何より自分自身の大きな自信になることが大きいと思います。名経には資格取得に対して理解し、応援してくださる先生方が多いので、皆さんもぜひ資格試験にチャレンジしてみてください。そして、大きな自信を手に入れてください。

行政書士 ●法学部3年 尾崎文成さん 国立鳥羽商船高等専門学校出身

